

まちづくり懇談会（平成30年4月16日～6月11日開催）

1 開催日、参加人数等について

開催日	開催時間	会 場	参加者（人）		
			合計	男性	女性
4/16（月）	午後6時	野花南生活改善センター	26	19	7
4/18（水）	午後2時	頼城多目的研修センター	22	8	14
4/23（月）	午後6時30分	常磐多目的研修センター	11	8	3
4/24（火）	午後2時	上芦別多目的研修センター	6	4	2
	午後6時	道営住宅であえーる緑幸団地 集会所	23	12	11
4/26（木）	午後6時	本町地区生活館	23	19	4
4/27（金）	午後2時	北日本多目的センター	25	9	16
	午後6時	啓南多目的研修センター	23	14	9
6/11（月）	午後6時	新城多目的研修センター	17	10	7
計			176	103	73

2 テーマ及び内容

(1) 平成30年度の主な施策について

星遊館改修工事、芦別駅前広場等整備工事、公営住宅すみれ団地建替工事、

市立芦別病院の診療体制、(仮称)北海道立林業府大学校の誘致に係る取組状況 等

(2) 財政収支見通しと行財政改革の取組について

(3) まちづくり基本条例に基づく取組について

(4) その他市政全般に関わる意見交換

3 各会場の主な内容について

4/16（月） 野花南生活改善センター（18:00～19:40）	
質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●合宿の件ですが、北の京芦別が利用できなくなり、合宿に訪れた人達の大半が富良野市に宿泊していると思う。合宿に来た人が、市内にお金を落とすことで経済効果が生まれると思うが、市として100人規模の合宿に対応できる宿泊施設を確保するつもりがあるかについて教えていただきたい。</p> <p>●老人クラブ連合会について、2年前までは連合会に加盟する単位クラブが13団体あったが、ここ1、2年で休部や廃止などにより加盟数が減ってきている。加盟率減少の原因として考えられることは2つあり、一つ目は、高齢により免許証を返納したため活動範囲が制限されること、2つ目は老人クラブ連合会へ支払う負担金が重荷になるためである。このため、現在、市から老人クラブ連合会に支出されている補助金の額を増額してもらいたい。また、2年前からふれあいサロンという補助事業が追加されたが、この事業を連合会から脱退した単位クラブが実施し、市から補助金をもらっている。連合会に加盟しないが、市から補助金がもらえる。こうなるとますます連合会に加盟する単位クラブが少なくなるので、この辺の整合性も含めて検討していただきたい。</p> <p>●市民会館の女性トイレには洋式が少なく、また、行事があると大変混雑するので、何とか改善してもらえないか。高齢になり足腰が弱くなる中であって和式トイレは大変不便である。福祉センターの3階や芦別駅も同様なので改善してほしい。</p> <p>●啓成中学校では生徒数の減少により部活動が行えないという話を聞くが、中学校の統合について構想があれば教えていただきたい。</p>	<p>●本市には宿泊交流センターがあり80～90名が宿泊できます。宿泊交流センターで対応できない場合は、スターライトホテルがあります。それ以上の規模の合宿は、他市に行ってもらっています。そこで、他市に流れている部分をせき止めるため、宿泊交流センターの一部を改修して、50～60名程度プラスできるように検討しているところです。</p> <p>●確かに、平成25年度と平成28年度を比較すると団体数は同じでも加入人数が減っています。高齢化が進むにつれて加入人数が増えていくと思われませんが、そうっていないのが現状です。補助金のお話もありましたが、加盟団体数、加入数の減少は大きな問題と受け止めさせていただいて、今後十分に検討させていただきたいと思います。</p> <p>●状況は重々承知しているところですが、現在、行財政改革を進めているところですが、市民会館のみならず他の施設の話も聞いていますので、ご意見として受け止めさせていただきながら、今後の参考にさせていただきたいと思います。</p> <p>●啓成中学校の統合について、結論を言いませんと現状ではいつ統合するということは想定していません。啓成中学校は、今、全校生徒が80人を切っていますが、5年後には50人余りとなる見込みです。学校の統合は、地域の皆さんにおいても大きな問題であると思いますが、教育の主人公である子ども達にとって適切で良好な教育環境を整えるという視点から考える必要があると考えています。特に中学校では、ある程度部活動の選択ができる学校規模を考える必要があると思います。</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●野花南共聴組合には22名の方が加盟しているが、昨年11月23日から12月26日までの間、アンテナ設備の故障で22名の方のテレビが見られなくなった。今回も共聴組合で修理をしたが、現在の22名の組合員で修繕費や維持管理費を負担していくことが少し困難になってきた。インターネットが普及している時代だが、それでもテレビは必要だと思うので、市の方々に現状を理解してもらい、快適にテレビが見られるように支援と協力をお願いしたい。</p> <p>●北大通について、道の駅はイベントなどで賑わっているが、道の駅からつながる北大通は現在雪捨て場になっている。何年前に道の駅から北大通をつないで開発するという提案があったと思うが、もう少し前向きに取り組まれてはどうか。</p>	<p>また、高校進学や社会に出ていくためには、集団行動や社会性を身に着けなければならず、そのために良い意味でクラスにおいて刺激をあえる、競争できるといった学校規模、クラス規模が大事であると思っています。今後、それらを見極めながらしっかりと考えていきたいと思っていますし、その際には地域のみなさんからもご意見をいただきながら、しかるべき方向性を定めていきたいと考えています。</p> <p>●テレビの視聴の関係について、今この時代にあってテレビが視聴できないというのは生活に大きく支障が出ますし、同じ市内にあって視聴に格差があってはいけないと思っています。先般、北海道の通信局にもお伝えし、事務的には少し前に進んでいます。改めて、どういう形で対処できるのかを十分連絡を取らせていただいて、お声を伺いながら方向付けができるように考えていきます。</p> <p>●道の駅と北大通を連動させた整備は、かつて道の駅を中心とした賑わい創出ということで、市民会議を開催して検討した経過があります。その中で道の駅はもちろんのこと北大通まで伸ばして整備をしてはどうかという意見があったところです。北大通については、かつては噴水がありましたが、噴水が無くなった後も花を植えたりし、市民のみなさんに楽しんでいただいていたのですが、近年はお話のとおり整備をしておらず、冬の間は確かに雪捨て場のような状態になっているというのが実態だと思います。今、ご意見をいただきましたので、道の駅の感謝祭もありますので、合わせて北大通の活用について、市役所内部においても一度協議していきたいと思っています。</p>

質問・意見等	市の回答
<p>●このたび、青少年会館を改修し頼城多目的研修センターとなり、体育館部分が災害時の避難所に指定されました。私一個人としての考えですが、大雨の際、この避難所は山の近くにあるため一番危険な場所だと思っており、避難所として相応しくないと思っておりますが如何でしょうか。次に、仲町にある旧頼城多目的研修センターですが簡単に取り壊したが、私は、まだまだ何年も使えると思っており、このような中で、あえて移転したが、市としてどのような考え方を持っていたのか伺いたい。</p> <p>高齢者がどんどん増えているときに、国道を挟んだところに避難所を移して危険だと思っている。他の避難所としては、仲町にある改良住宅について、現在2階が空き家になっており、その方が安全だと思うが、市において検討した経過はあるか。</p> <p>●一昨年、スターライトホテルに木質チップボイラーが導入されて、芦別も木に対して一歩踏み出したかと思っていた。その後、全く次がない。消防庁舎の建て替えの際に話題に上がったらしいけれど、結果として見送られた。昨年、この地区に木質チップ燃料の原料ということで成長の早い木が植えられた。せっかく林業学校を誘致しようとしている中で次が無いでは対外的にもアピールできないと思っている。芦別温泉だけでは単発の取組になり自己満足だと思う。少なくとも継続していかなければ、継続した林業経営にはならないと考えるが、これからの計画をどう考えているのか教えていただきたい。</p> <p>●キラキラバスについて、今、一日9本運行しているが、時間帯によっては芦別方面に戻る際に誰も乗せないで帰ってしまう。3時頃の</p>	<p>●頼城地区全体としてしっかりとした避難所を設けたいということでこの施設を活用させていただきました。山から水が流れてきて様々な被害を過去も受けてきていますが、総合的に考えると、しっかりとした建物の中で、しっかりとした空間があり、市の職員、国の職員、警察、消防が集まった時に対応しやすいところがこの施設でした。次に、改良住宅の空き家を避難所にしてはどうかとのことですが、避難所を開設した時に、そこにただ逃げるだけではなく避難した後、皆様方が協力をして色々な対応を図る、その他、市において避難の誘導、食料の提供等、いろいろな対応を図ることになります。今のアイデアを否定はしませんが、部屋があれば良いというわけではなく、避難をした後の対応をしっかりできる施設が必要になりますのでご理解いただきたいと思っております。</p> <p>●木質チップボイラーに関しては、地元の木材で特に林地残材を活用しようということで始めました。現在はスターライトホテルで年間2800tのチップを焚いていますが、現在のところ林地残材を使える量は2800tのうち2割程です。残りについてはパルプ材を使っています。</p> <p>次に、木質チップボイラーのチップ燃料を製造している組合に対して、どこまで増産が可能か確認したところ、今の1.5倍、プラス1400tと聞いております。そこで、市としても、次の施設としてどこがいいのか検討し、市立病院とすばるを中心とした一群の施設に木質チップボイラーを導入できないか検証し年間1800tで賄えると試算したところです。ただし、市立病院もすばるも、直ちにボイラーを入れ替える状況にないことから、もう少し検証して将来的に導入が可能かどうか判断したいと思っておりますが、木質バイオマスボイラーは設備投資額が大きいコスト計算しながら、いつ頃どのような形でできるか検証していきたいと考えています。木質バイオマス開発協同組合は、木質チップ燃料を増産することでコストを下げたいと考えており、石狩市や苫小牧市のバイオマス発電所に販売することが可能かどうか考えている状況です。</p> <p>●キラキラバスについては、確かに、2便ほどは回送便でお客さんを乗せないで帰ってしまいます。地域の方々から見ると誰も乗せない</p>

質問・意見等	市の回答
<p>バスは回送ですが、この時間帯に乗りたい人もいます。もう少し利用しやすいようにダイヤを考えていただけるとありがたい。その他、乗り合いタクシーという方法もあるが、地域住民の足を確保していく必要があると思っているのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>●先日、共同浴場で具合が悪くなった方がいたので救急車で病院に搬送した。その後、少し状態が落ち着いたということで病院から自宅に帰ってくださいと言われた。その方は一人暮らしなので自宅に帰ってから再度具合が悪くなっても看病する人がいないので、病院のスタッフの方に一晩だけでも入院させてほしいとお願ひしたが、決まりがあるのでダメですと断られた。決まりはあるかもしれないが、90歳を過ぎている具合の悪い方を、誰もいない自宅に帰してしまうのはどうかと思うので、再考していただけるとありがたい。</p>	<p>で帰るのであれば、乗りたい人がいる場合は乗せた方が良くと思う気持ちは理解できます。しかしながら、現在、キラキラバスは4台で運行しており、これを上手に使い回している状況です。したがって、頼城から回送便で帰るバスは、他の路線に向かうため、人を乗せてしまうと次の時間帯に間に合わなくなります。バスのダイヤの部分については、改正する場合は北海道運輸局に申請し許可をもらう必要があります。この場合、乗務員の乗務時間の上限が定められており休憩も取らなければならない等の決まりがあり、やむを得ずこのような形になっていることをご理解いただきたいと思ひます。</p> <p>また、乗り合いタクシーですが、3年ほど前に試験運行しましたが、その後の利用者に対するアンケート調査では、便利なのでこのまま続けてほしいと答えた方もいましたが、多くの方が狭い空間で他人と乗車するのは抵抗がある、登録の手続きの煩雑であるとお答へになり、時期尚早ということで見送った経過があります。ただし、現在は当時と状況が変わってきていますので、再度検討する余地はあると考えております。</p> <p>●基本的には今のようなケースは病院に泊めることはできません。基本は、あくまでも医師が入院を必要とする者を入院させます。今のお話については、事情は十分に理解できますが、社会的入院といひまして医療とは関係のないところの入院の仕方ですが、このようなお話は本市に限らず他の地域でもあるケースですし、今後も起こり得ると考えていますので、改めて病院の対応を検討させていただき、また、他の自治体病院でも同様のケースがあると思ひますので情報交換させていただき対応を図っていきたくて思ひます。</p>

質問・意見等

●企業誘致について、芦別には仕事がないため若い人が残らないと感じている。北日本精機機のような企業があれば定住に繋がると考えるが、市ではこれまでどのような取り組みを行ってきたか教えていただきたい。

●現在、常磐地区の高齢化率は50%を超えている状況の中で、今年度になり旭川芦別間の中央バスが減便となるなど、病院へ行くための交通手段が少なくなっている。高齢のため運転免許証を返納している方も多く、自家用車で行くこともできない状況なので、乗り合いタクシー等があれば利用しやすいと考えている。キラキラバスの運行も含めて検討してもらいたい、市の考え方を教えていただきたい。

●常磐での会議等において、車を持たない方や役についている方から、市内へ行くための交通手段がないとの話があり、代わりにスクールバスを運行していない時間帯に利用することができないものかとの意見があった。小・中学生が通学と帰宅する時間帯以外に、スクールバスの利用が無いのであれば、そのようなことも考えていただきたい。

市の回答

●芦別には仕事がないわけではなく、ほとんどの会社では人手不足となっています。数年前より市と商工会議所で企業説明会を実施しており、近年では、地元企業に就職する方も増えていますが、まだまだ人材が足りないところです。また、企業誘致活動については、最近では3月1日にIT企業であるビッグボイスが、旧上芦別保育園跡に事業所を開設し、滝川職業安定所に職員の募集を求め1名が採用となっています。この企業は7月1日から本格的な操業を行うとしており、当分の間は3名程度、将来的には10名以上の社員体制とし、旭川方面にも事業展開していきたいと考えています。なお、その他の企業誘致に関しても本市に来ていただくため積極的に取り組んでいきたいと考えています。

●今年度4月1日から、中央バスの旭川芦別線の運行が2便ずつ減になったところですが、この路線については、これまで北海道中央バスに対し芦別市、旭川市、深川市が赤字相当分を補てんしながら運行してきたところです。なお、北海道中央バスとはこれまで十分な協議を行っておりますが、中央バスに乗車されるお客さんが増えない中で、これ以上赤字を出さないために減便したところであり、中央バスからも最終便の減便が提案されましたが、日中の時間帯において対応いただいたところです。市としては、この路線を守りたいと考えております。なお、乗り合いタクシーやキラキラバスの運行について、この場では回答はできませんが、地域からこのような声があることを踏まえ、協議していきたいと考えています。

●スクールバスを購入する際、国からの補助金によって購入している経緯があります。その際には、目的に沿ってスクールバスを利用しなければならない制度上の問題がありますので、小・中学生の通学・帰宅の際の登下校に使用するほか、学校行事に関連する移動手段に要する送迎等に使用できるとされているところです。そのため不特定多数の方に対し目的以外での利用は認められていないことから、現段階では市民の方の送迎などに使用することは制度上できないこととなっています。

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●林業学校の誘致について、空知管内の自治体以外にも誘致に手を挙げている地域があるが、何とかこのまちの活性化のためにも成功するよう頑張ってください。</p>	<p>●林業学校の誘致については、本日も道庁へ出向き、知事宛に本市に決定した場合の提案書を提出してきたところです。現在、本市以外にも13の地域が手を挙げており、道としても平成32年度には開校を予定していることから、6月の定例会において一定の内容が示されるものと考えています。これまで市、市議会、期成会の3者合同での要望活動のほか、昨年11月には市民のみなさんからいただいた6,682名の署名を知事へ提出してきました。今回、道では基本構想を示しており、それを受け本市では、林業学校が誘致できた場合の受け皿がについて記載した提案書を提出してきました。先日17日には道から担当局長が本市を訪れ、基本構想の考え方の説明を受けるなどして、お互いに意見交換を行ったところです。その際、施設の有効活用の観点から旧常磐小学校と、旧野花南小学校の2箇所を提案し、施設を無償で提供することを示したところです。なお、現地では旧常磐小学校を見学し木材を使用している校舎であり、とても状態が良いとの言葉をいただいているところです。今後、道では13地域のヒアリングを行い、有識者会議において説明した後に一定程度の内容が示されると思いますので、透明性・公平性を持って決定していただくようお願いしたところです。</p>
<p>●旭川空港へ向かう国道452号について、何年も前から整備に関する話があるが、工事が進んでいないように思えるので、現在の状況について教えてください。</p>	<p>●一般国道452号の整備については、現在、油谷から旭川へ向かう区間12.9kmが未開通となっています。当初は、この区間の調査費用として1億円程が計上されていましたが、近年では約7億円が計上され工事が実施されているところです。工事の内容につきましては、地滑り地帯であるため180本の杭打ち工事が主な工種となっております。したがって、その杭打ちの経過を観察し、施工後において新たな地滑りがないかの状況を確認しながら、次の工事へ進んでいくこととなっていますので、地滑りが発生していないことが確認できれば、今後トンネル2か所と5橋の工事に進めると聞いております。</p> <p>なお、現在近隣の市・町と連携して芦別市長が期成会の会長となり、毎年7月に道内において北海道開発局、札幌開発建設部、旭川開発建設部ほか、中央においては国土交通省道路局、北海道局、財務省、観光庁と道内選出の国会議員に対し要望活動を行っています。</p> <p>また、11月には芦別市、芦別市議会、芦別</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●道道芦別赤平線改良工事について、平成27年度までに完成すると聞いていたが、昨年100m、今年は全く工事の話がないので、市に情報が入っていれば教えていただきたい。</p> <p>●今年は雪がとて多く道道の排雪も2回の予定が1回し入らなかった状況で、話しによると、雪捨場が一杯になったため排雪できないと聞いたが、詳しい内容を教えていただきたい。</p>	<p>商工会議所の3者合同による要望活動を実施しているところですので、今後も、要望活動を継続し一般国道452号の早期開通に向け努力したいと考えています。</p> <p>●この道路につきましては、用地買収が進んでいなことから工事が遅れていると聞いています。これまでも用地買収が済んでいる箇所から順次工事を進めております。なお、道からは完成予定が示されていないところです。</p> <p>●道からはそのような話しは聞いていません。国、道の排雪に関する雪捨場は旭町のみとなっています。市の排雪については、何か所か雪捨場を確保しているところですが、国、道においては10tダンプを使うため、旭町の雪捨場だけを使用いただいています。なお、この内容については、道から話を聞き、来年度に向けて対策を検討したいと考えています。</p> <p>また、今年度は雪が多かったため、排雪も全ての雪を取らないでカットしながら行っている経過があります。国道、道道においては滝川方面から行っているため、芦別の排雪に入るのが遅れたものと思われます。</p>

質 問 ・ 意 見 等

市 の 回 答

●星遊館改修工事につきまして、市の負担額が1億5千万円であるとの説明がありました。この施設の年間の利用者数と市民が利用している人数を教えてください。

●星遊館の利用者数は、最近の資料ではありませんが年間9万人程度となっています。市民が利用した人数については把握をしていません。指定管理者が民間会社になって会員になった方もいますが、人数については把握していません。

●芦別市立病院への貸付金について、返済できる見通しはあるのか教えてください。
病院の評判はあまり良くないように思いますが、このような状況で返済できるのか、病院の中の体制を検討する必要があると考える。

●病院に件について、財源の問題は大変深刻な状況となっています。その要因としては常勤医師の不足が考えられます。特に整形外科・外科医師の確保がとて難しくなっていますが、その医師確保に向けて一生懸命取り組んでいるところです。

先日、本市と旭川医大が本年2月3日に医療とスポーツに関し連携して取組ための協定を締結しました。この協定では2年後のオリンピック、パラリンピックを見据えており、本市が合宿の里として取組み、さらには施設を視察した際にとて充実していると言っていたことから、オリンピック、パラリンピックを支えるためにも協定を締結したところです。なお、この協定は1年更新ではありますがオリンピック、パラリンピック後も継続する約束をいただいているところです。

ただいまご意見があった内容について看護師、医師又は病院内の体制に問題があったのであれば、改善に向けて取り組んでいく必要があるものと考えますので対応してまいります。

●道の駅の2階レストランについて、市外からの来客を連れて「ガタタン」を食べに行きましたが、高齢者の方であったため階段を上ることができなかつた。施設内にエレベーターが付いていれば食事をするのができたが、結局のところ食事をしないで帰ってきたことがある。今後も高齢者が多くなると思われるので、利用しやすい施設にしていきたい。

●道の駅のエレベーターについては、議会などでもご意見をいただいています。市としても設置に向けて検討したことがあります。車椅子対応の最小のエレベーターを設置した場合でも8千万円程の工事費となります。設置するにあたり他の財源(補助金・交付金等)があれば可能となりますが、現在のところ財源がないことから設置を見送っているところです。

●道の駅のレストランについては、いろいろな会議で意見を聞いたことがあるが、あまり利用されていない百年記念館を利用するか、百年記念館を旧野花南小学校に移設するとかして、レストランを1階に設置した方が良いという意見が多くある。

●道の駅のレイアウトについて、これまでも1階にレストランを設置してはどうかと検討をしたこともありましたが、今となつてはそれに見合った財源はなく、そのタイミングを逃しているところです。そのため財政の基盤をしっかりと作つてから、これらの取組みを検討していきたいと考えています。

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●病院の内科診療について、午後からの診察を行っていなかったため受けられないことがあった。滝川市立病院か砂川市立病院へ行くとすると1日かかるので大変な思いをしている。可能であれば内科の診療だけでも1日やっていただければと願っている。</p> <p>次に、病院の用途変更についてですが、桜町で20数名が集まった時に、少しお金がかかるけど砂川市立病院と連携していただき、病院の機能を統合するといった意見が出てほんとの人が賛成していた。ただし、その際には救急搬送などの体制の充実が必要である。</p> <p>●空き家の件について、今年の冬は雪が多く倒壊した家もあった。聞くところによるとそのまま置いておくと税金が掛からない、また、壊して全て撤去すると税金が掛かるという話を聞いた。壊れかけている空き家などはとても危険な状態であることから、市で何とか対応が出来ないか。</p> <p>●同様の内容で、数十年前に国において景気を良くするために住宅の建設を促進しましたが、当時建てた方も高齢化となっており、中には既に亡くなっている方も多くいることから、国がその対策をするべきだと考える。市も国に対しそのような要請を行った経過はあるか。</p> <p>●桜町は元々炭鉱住宅であったが、現在では91戸ある住宅のうち31戸が空き家となっており、更に高齢化率は66.8%です。この様なことから、さらに空き家が増えることとなると思われますが、市で良い対策はないか。</p>	<p>●病院の診療科目と用途変更についてですが、病院経営の観点から申し上げますと、病院内の病床数は全体で129床あります。現在、この病棟を再編する考えでおり全体として100床程度にする予定です。病棟についても使用していない箇所もあることから、看護師、医師を含めて実情に合った病院体制に変えていく考えでいます。また、多角経営についてですが、現在、砂川市立病院が中心となって、中空知の医療を担うことになっています。</p> <p>自治体が個々に医療体制を維持することは困難ですので、各自治体でできる事を行いできない事については、交通手段の確保も念頭に置きながら医療体制を充実させる考えでいます。</p> <p>●空き家対策については市の条例で対応しており、危険な家屋がある場合には、条例に基づき助言、勧告、指導ができることになっています。ただし、所有者が全く不明の場合と所有者がはっきりしている場合とでは、その対応が異なり内容によっては時間を要することがあります。基本的な考え方としては、所有者の責任で処理することになっています。また、早急な対応が必要な場合には、解体・処理後に所有者へその費用を請求するなどの対応を図っています。</p> <p>●次に、空き家の解体による税金の有無については、そのまま放置すれば税金が掛からない、自ら解体・処理すればその費用と税金が掛かります。土地は建物があることによって税金が軽減されていますので、建物が無くなれば税金の軽減が無くなるため高くなる仕組みです。崩壊し家の形を無くした土地の税金については、軽減されないため通常の税金を掛けることとなります。なお、景観上の問題もありますので危険と判断した場合には、先程の説明のとおり空き家対策条例のもと対応することがあります。</p> <p>また、引越しなどのため住むことができる家でも空き家になってしまう場合には、市において空き家・空き地バンク制度がありますので、この制度に登録していただければ、他の方への紹介が可能となっています。</p>

質 問 ・ 意 見 等

●芦別は人口が減少し、将来的には半数くらいになってしまう。そこでコンパクトなまちづくりですが、芦別は地域的に広いので、可能であれば芦別市内、上芦別を含めてコンパクトなまちづくりを進める必要があると思うが、現在の市営住宅の戸数で間に合うのか。例えば、頼城に住む人たちが芦別市内に住めるようにして、コンパクトなかたちにしなれば遠くへ行かなくてもいい、除雪もしなくていいと考えており、そのためには市営住宅や道営住宅の空き部屋、一般住宅の空き家も含めて活用するなどして、コンパクトなまちづくりをお願いしたい。

●今の意見の中で私が危惧しているのが、コンパクト化に対する議会や市の人達に共通の認識があるかどうかで、今の意見は、できるだけ本町地区あるいは上芦別地区に施設や人口を集中化して、もう少しやりやすい状況を作っていくってはどうかということ、例えば同じコンパクトシティを目指すにしても議員さんの中にも捉え方が様々あったと思う。例えば頼城は頼城で小さくまとまってコンパクト化していく、西芦別は西芦別で小さな拠点を作ることがいわゆるコンパクト化だと思っっている方も多々いたように記憶している。今ほどあった意見は2大拠点地域というかたちなので、使っている言葉が同じであっても全然違う方向に行ってしまうので、共通認識でいかなないと、言葉だけが踊ってしまう気がしてならないので、市の考え方を聞かせたい。

市 の 回 答

●市としても今言われたことは、やっていかなければならないと思っています。

現在、頼城と西芦別の改良住宅の移転を行っています。古いところから順番に移転をして頼城は一定程度終わり、西芦別がもう少しという状況です。

先ほどの説明の中ですみれ団地の移転の計画がありましたが、これも現地建替ではなく、旧あけぼの団地の場所に移して建てる、今のすみれ団地というのは市の端のほうにあるため、そこは取り壊して更地にし、少しずつまちの中へと考えております。

今後は、今年度に住生活基本計画の見直しをして、今後の公営住宅の建替を計画したいと考えていますが、可能であれば旧緑ヶ丘小学校跡地が市有地として空いているので公営住宅を整備し、まちなかに住んでいただく。

そうすることによって先ほどご指摘がありましたように除雪などいろんな経費を削減することができると思っていますので、市としてもそのような方向で進めていきたいと考えています。

●今ご指摘がありましたけれども、コンパクト化も中期的な視点と長期的な視点というのがあって先ほど頼城と西芦を集約化進めているというのは、今おっしゃられた通り拠点ごとにコンパクト化しようという考え方に基いてやっております。

これは何故かと言いますと、移転をしていただくときに地域に入って色々お話を聞きますと、やはりその場所で30数年来過ごしていたら、移るにしてもこの場所を終の棲家にしたという考え方の人が多いようです。そこで、それぞれの拠点ごとにコンパクトにしていくというような考え方で、今現在やっている事業はそういう考え方で進めています。ただそういう中においても、この機会だから本町に動くとか上芦に動くとかこの道営住宅に入られた方もいらっしゃいます。今頼城、西芦の拠点ごとにまとめてはきていますけども、それでもやはり空き家の率というのはどんどん増えていくというのが現状です。その先をどうするか。ということには今度は長期的な視点に立って、実際そこに住まわれる方の利便性ですとかというものを考慮しながら、もう一段階考えなければならぬのではないかなということですが、ただそこは市と

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●先ほどの意見は、非常に大きな意味があり、発端は新聞報道等で目にした人口減少の推計です。将来の人口推計が出される中でその都度5か年に渡る基本計画等々を立てながらやってきた部分もあるが、悲しいがほぼ示された人口推計に近いようなかたちで推移してきた。その辺を危惧するので、早めにその対応をということで提案をされたと思うので、急いで対応を考えていかないと、例えば施設の廃止にしても学校の在り方にしても、あるいは運動施設や健康施設の在り方にしてもその辺の充実を図らないとたぶん若い夫婦は来ないと思うので、どういった配置にしていくかを急いで検討して欲しいという願いが込められていると私は受け止めている。</p>	<p>してもまだはつきりということだという明確なものを出していないところです。</p> <p>ただ、将来的にはやはり長期的な視野に立ったもう一段階のコンパクト化を視野に入れて、色々議会とも議論していかなければならないだろうというふうには思っております。</p> <p>●案内のように第5次総合計画が平成31年度で終了するため今後の10年間の計画づくりを32年度にスタートします。まさにこのコンパクトシティ化というのは、次の総合計画においては重要な位置付けとなる課題だと思います。</p> <p>芦別は広くそれぞれ集落があり決して頼城西芦別だけの問題ではありません。やはり集落ごとにそれぞれ拠点的に整備をするのも一つあります。発展的にはやはり中心市街地に受け皿を用意する、そういう流れがあるんだと思っています。ただ、いずれにしても具体的な内容は、ぜひ新しい総合計画の策定段階で広く市民の皆さんと意見交換させていただきたいと思っています。</p> <p>今お話しいただきましたように、公共施設の在りようも、まさに人口に合わせた機能面、必要な用途など、施設の在りようも避けられない問題だと思っていますので、総合的にそういったビジョンを持ちながら緩やかなダウンサイジング化を図っていかなくてはならないなと思っています。そうは言っても、人口規模に合わせながら施策展開しなくてはいけないという実態があります。私は縮充という言葉を申し上げていますが、これは縮小とその機能を充実させていくということで、ある意味コンパクト化につながる意味合いを持ちますが、人口が減少することに伴って収入も目減りしますので、行政サービスを適正規模にあわせていかなければならないということになります。つまり入りがあって出がある。というこのバランスをしっかりと取る必要があります、そのためには、全体的な政策の取捨選択に向けて、様々な角度でこのことは逃げることなく、真正面から議論させていただき、持続性のある芦別をこれからの次の世代につなげていくため、深い議論になりますがコンパクト化については、総合計画の策定段階で議論の中心の課題にしていきたいと考えています。</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●財政基盤強化について、総人件費の抑制及び定員管理の適正化の推進とあるが、具体的な数字と、補助金交付金等の見直しの部分で補助金交付金というのは総額いくらで、その内いくら削減する予定なのか、この2点について教えていただきたい。</p> <p>●ふるさと納税について、ここ近年、件数が何件あっていくら納税されたのか、それからふるさと納税のお返しですが、去年話題になっていたが、非常に高価なお返しをしていると。ここ何年かのふるさと納税の状況を教えていただきたい。</p> <p>その他、ふるさと納税で納税されたお金を市はどこに充てているのか、それから今後どのように特化していくのか、ふるさと納税をインターネットでできるのかも教えていただきたい。2、3年の状況がわかれば教えていただきたい。</p> <p>●芦別駅前広場の整備について、芦別駅前は今昭和三一年から三二年にかけて整備されたが、当時、今のAカードの事務所のところに中央バスの待合室があったが、当時の発着便が12便くらいあり、そのときなぜ国道側に待合室を移転したのか経緯がわかれば教えていただきたい。私の記憶だとなぜ国道側に作ったかという、当時12便のバスが駅前に</p>	<p>●行財政改革の関係について、一つ目の総人件費の抑制と定員管理の適正化ですが、現在市の職員数が240名ほどで、この人件費を抑制していくということですが、例をあげますと、民間に委託が可能な部分については民間に委託をし、その事業を担っていただくことで職員数を減らしていくというのが一番大きな考え方です。例えば公共施設の維持管理ですとか、この4月から公営住宅の管理等についても指定管理者ということで、民間の事業所さんをお願いをしましたが、このように今市が行っている仕事の中で、まだまだ民間に出せるものがあるのではないかと。そういったものを民間で行っていただくという考え方が大きなところなんです。次に2点目ですが、補助金交付金の見直しですが平成30年度の補助金交付金委託料、総額で11億3千万ほどになっています。これらについて今後1件ごとに見直しをし、減額できるものは減額していく、目的が達成されたものについては廃止をしていき金額を減らしていく努力を進めていくという考えです。</p> <p>●ふるさと納税について過去3年程度の状況ということですが、昨年度の書類しか手元にありませんが、ふるさと納税は総額で約3億円になっています。返礼品の関係ですが、芦別市のふるさと納税につきましては、一番大きな返礼品は日本ソーイングさんの仕立てオーダースーツが高価な返礼品でして、返礼品のほとんどがそのスーツになっている状況です。言い換えますと1件1件の納税額が非常に高額なため、ふるさと納税の総額が大きくなっている状況です。また、ふるさと納税の使い道ですが、目的があるわけではないので、通常の一般の歳入として扱い様々な事業に充当しているところです。インターネットでの手続きですが、ふるさとチョイスというサイトがあり、そちらの方から手続きが可能になっています。</p> <p>●駅前広場の整備について、今ほど、昭和30年代の経過という部分については、過去の書類の範囲でしか確認していませんので、今ほどご説明いただいた内容は承知していません。ただ、今は当時の状況とは大きく変わっており、現状は、中央バスにおいては便数が減っておりターミナルがなくなり、市内のアシントンさんのほうに一部を待合所としてお借り</p>

質問・意見等	市の回答
<p>駐車し駅前商店街から苦情があり、国道のほうに移りました。その後バスが減便しターミナルがなくなった。今、JRが路線廃止を叫んでいる中で、高速ふらの号が乗り込むことについて、JRとの協議がうまくいくでしょうか。それと費用の負担ですが、現在、市が整備しようとしている場所は国鉄が全部整備したが、昭和31年から原型が全く変わらないで、この図面で見ると高速ふらの号が降りる部分、乗車して発着する部分、交番の前でどっちに曲がるのかわかりませんが、滝川に向かうのも富良野に向かうのもここを通るのか、その辺をわかった上でこういうかたちにしたのか。それから昔の話ですが、他市の場合全部北海道が整備していますが、今回、市が6千万円を投じて整備する理由も弱いと考えますが、承知している範囲で教えていただきたい。</p> <p>●様々を聴きましたが、JR 芦別駅前の整備は大ヒットだろうと思います。札幌へは中央バスで行くが、発着場所が駅前に行ったら北駐車場も近くなるし素晴らしいと思う。次に、温泉が本当に温泉らしくなり、市民の健康増進の意味からも大変良い事業である。</p> <p>ただ、聞いて驚いたのは、財政が厳しいことは知っていたが、5年後に3億円しか残らないということで、お金が切ないことがわかったので、芦別市らしい身の丈に合った事業を組んでいかれたら良いと思った。その一つとして、まちのコンパクト化を積極的に進めないと、インフラのお金がたくさんかかるようになり除雪費もかかる、また水道料が値上げになる恐れもある。次に、カナディアンワールド公園を閉鎖してはいかがでしょう。1年間の維持費に1600万円ほどかかっていると聞きました。これ5年間削ったら3億円に近づくと。またはカナディアンを買った人が出てきたときには、気持ちよく売ったら良いと思う。もう一つは、市議会議員の報酬を下げる。定員を下げるという意見もあるが、定員を下げたら会議にならなくなる。ほかの町のことですけども、歌志内は3,800人の人口で</p>	<p>している状況から、冬季の防寒対策など色々なご意見をいただいております、その現状に則した中でこの待合機能をJRさんのご協力いただく中で、その役割を果たしていきたいということと、路線バスが駅前に入ることについては、土地についてはJRの敷地ということもあり、当然この事業を進めるに当たり、JR北海道のご協力が必要でして、この部分につきましては、バスとJRとは競合する交通機関ですので、これまでJR側、中央バス側それぞれと協議をしながら、この形で広場を整備していくことについてご理解をいただいているところです。また、富良野のほかこの近隣におきまして、この整備事業を道の事業により進めているところですが、なぜ芦別においては市が主体になるかということ、現状それぞれの事業者等においては整備の必要性を持っていない、市の課題点等がありましたので、市が主体となり、公共交通機関を利用されている方がやはり高齢者の方が多くなってきており、市民のみなさんの利便性の確保という観点から、今回できるだけ経費を掛けないで、しかも財源措置がある制度を使い整備を進めていきたいと考えています。</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>議員は8名いる。今の芦別の割合からいったら歌志内は3人で良いが、これでは会議にはならないので、NHKのホットニュース北海道で議員の報酬は市長の3割というのが目安と言っていた。そうすると今の市議会議員は、31万5千円ですね、年収440万くらいで合計6千万くらいお金が掛かっているが、25万にすると2千万円浮く。ぜひ市議会議員の報酬を見直してはどうか。定員削減は1万人を切ったときに話し合えば良いと思った。それから、除雪排雪費というのを市民も負担したらどうかと思った。私は岩見沢に3年間住んだけど、排雪のトラック代を町内会で各戸1万円集めていた。自分たちの雪は自分たちで投げるというまちに居たので、芦別来てびっくりしたのと、ありがたいと思いました。私の計算では1戸から5千円1年間集めて3500万円のお金が集まる。今年ちょっと雪が多かったので2億円以上かかりましたか？ぜひ市民のみんなも排雪の代金を負担するという事も考えて良いと。それから、人口が減る中で東川町では外国の若い人200人入れて日本語学校を開いている。一人当たり地方交付税が20万円来て4000万円入ってくる。その4千万円を福祉に使っていると今朝のNHKで言っていたので、うまくいけば林業学校の隣に日本語学校を作って、その若いひとたちが今度芦別高校に入り出て、林業学校へ行ってというふうになれば人口も増える、地方交付税も増えるという話になる。</p> <p>学校の建物はあるので、そういうところで外国の人を呼んで来て例えば東南アジアの日本で働きたい方々に来てもらって、日本語の勉強をして、例えば介護ヘルパーになってもらい芦別に住んでもらって、結婚して赤ちゃんを産んでいただければと。</p> <p>色々申しましたが、やっぱり愛する芦別がさらに良くなってもらいたいという一念です。</p> <p>(意見)</p> <p>●実は、芦別に住みたくても住めない現実に我々の年代はぶつかっている。まず、タクシーが夜中無い。緊急で体が具合悪くなった時にどうしようかというのが一番の悩みです。芦別は良いまちで、住みたいけども、住めないような現状である。タクシーが採算のとれないことはできないことは理解できますが、それに対して良い考えがあれば教えていただきたい。</p>	<p>市 の 回 答</p> <p>●今回、まちづく懇談会を回っている中で、市民の皆さまの足の確保という部分について様々なご意見をいただいています。</p> <p>今はタクシーの部分に特化されていましたが、全体的に高齢化が進む中であって足の確保は非常に大きな問題ですが、大きな問題だけにすぐに解決ができるとは思っていませんが、市としてもしっかりその辺を考えていかなければ、確かに少し離れたところになると</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
	<p>老人クラブや会合にも出られなくなって、役員さんもいなくなり、それで会を脱退するとそんな悪循環になっているというお話もありました。タクシーのことは私からは何とも申し上げることはできませんが、今確かに夜中は走っていないという実態は承知していますが、そういうお話があるということは、お話しをさせていただきます。</p>

4/27（金） 北日本多目的センター（14:00～15:20）

質問・意見等

市の回答

●JR芦別駅について、平成28年4月からJR北海道より委託を受け駅舎を管理していると思うが、どなたが受託しているのか教えてください。

●これから観光シーズンになり、札幌から富良野まで観光列車が運行されますが、駅舎に電話が無いためお客さんは問合せができなく、緊急時も駅に連絡できない状態ですが、平成28年4月のタイミングで市として電話を設置できなかった理由について伺いたい。駅前広場等の整備に6千万円もお金をかけるのであれば、電話を引くくらいできると思う。

●土曜日、日曜日、祝日に臨時職員を勤務させることはできないか。5月になって観光客もどんどん来るのに駅に誰もいないのは芦別として寂しいと思うので、何とか臨時職員に出していただいて対応していくというのはいかがか。

●中央バスの春のダイヤ改正について、私は朝の旭川行を利用して旭川の病院に通院していますが、帰りのバスが午後5時まででなく不便である。この件に市も関わりがあると思うので、時間帯をもう少し考えていただきたい。

●平成28年4月から、JR芦別駅が無人化になり、その対応として市において臨時職員を配置し、午前6時45分から午後3時まで窓口業務を行っています。また、この他、列車の案内放送業務、清掃業務をJR北海道から市が直接業務を受託し、その臨時職員が対応しています。

●芦別駅に問い合わせの電話がなくなった理由ですが、確かに平成28年4月に無人化になる際に駅舎事務室内の電話がなくなり、現在は平日の午前6時45分から午後3時まで臨時職員を配置していますが、列車の運行に関する問い合わせ等については、時間的な制約や市がお答えできない部分もあり、JRお客様サービスセンターにお問い合わせいただくことになっているが、お問い合わせの電話番号がご利用の皆様にも周知されていないということだと思うので、改めて周知させていただきたいと思いますが、現状において、市が電話を設置して対応等ができない状況についてはご理解をいただきましたと思います。

●今回の無人化への対応ですが、芦別駅での利用状況ですが、利用される方の8割以上が通勤、通学利用になっており、無人化に当たっては高校生等の安全確保に問題があるということで、まずは通学通勤の利用者に対する利便性の確保、安全性の確保という観点から臨時職員を配置したところです。今ほど観光客への対応というお話でしたが、現在、JR根室線の維持存続問題がある中で、観光による利用促進に関しても議論させていただいていますので、観光を含めた中で土曜日、日曜日、祝日の体制の在り方については、今後検討させていただきます。

●旭川線のバスの時刻が変更になったということですが、これは、便数が減ったということです。旭川線については乗客が減り経営が成り立たないことから、これを維持するためには6便を2便に間引きしなければならないということでした。これにつきましては芦別市だけではなく、深川市と旭川市と3市がそれぞれ存続するために補助金を出して中央バスに運行していただいています。今までも補助金を出していましたが、これ以上補助金も増額できない、中央バスも運行できない中で、

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●西芦別の共同浴場について、開館が4時から4時半に変更になり、閉館が9時半から9時に変更になった。利用者も少なくなってきたのは理解できるが、お風呂を改善していただくことは可能でしょうか。最近では匂いも気になるほか、浴槽のお湯がぬるい時にお湯を足そうとしたときに、脱衣所までバルブを取りにいかねば操作できないなど不便さも感じています。このように意見・要望がある場合は、どこに伝えたら対応していただけるのでしょうか。</p> <p>●改良住宅の移転集約の件ですが、市として今後、どのように進めていくのか教えていただきたい。住民も高齢化が進んでいる中で、移転することになったらどうしようかと不安を抱えている方も多くいます。</p>	<p>最低限、朝に通勤、通院する方々のためにバスを出し、帰りは夕刻までに帰っていただけるようにバスを守ろうということから今回検討させていただき運行しています。今ほどのご意見は他の地域からもありますので、実際に運行してみたら利用者が困っていることを中央バスに話をし、今後どのようにできるか常に検討していきたいと考えておりますので、ご不便をおかけしていますが、この路線を守るといって今回の改正があったということですのでご理解願います。</p> <p>●共同浴場に関しては利用者が減ってしまし、て経営が厳しい状態です。西芦別につきましては、その減り方がものすごく大きいので、組合自体も成り立たないという状況になっています。従いまして辛抱するという意味からもいろんな対応を凶っていますが、ご利用の皆様にご迷惑をおかけしていると思っ、ています。燃料費が上がり利用者が減る中で利用料金(440円)については北海道が決めているため変更できず、受益者負担を求められない状況です。市については水道料の基本料金分を補助金として支援していますし、故障した時の修繕料を負担するなど組合を何とか続けていただけるように対応しています。その中で、ご要望がございましたら市の環境衛生係にお話しいただければ、組合の方とも一緒になってどのような対応ができるか検討させていただきますので、ご理解願います。市としても、西芦別、頼城、本町の共同浴場は生活に必要な浴場と認識しており是非利用していただきたいと思っ、ていますが、厳しい中で経営していること、そして改善については組合だけでなく市と一緒に協議しながら進めていきますのでよろしくお願、いします。</p> <p>●西芦、頼城地区の改良住宅の耐用年数が過ぎた住宅については移転集約事業ということで、間もなく、この事業が終了します。移転集約を行うときに西芦地区、頼城地区それぞれで説明会を行ってご意見を聴いたときに皆さん多くの方がこの場所から移りたくない、移るにしても同じ地区に移りたいという方が大半でした。それを受けて市としても、今回の移転集約については、これが終われば一旦終了することを説明しており、その考え方は今も変わっていません。その一方で市としては公営住宅の建て替えを進めていまして、すみれ団地については現地建替えではなくて、まち</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●私もあちこち歩いていて、市の職員を見かけたら私から挨拶くらいはしますが、知らないふりをされます。笑顔一つで明るくなりますし、そんな芦別であっても良いと思っています。</p>	<p>なかに建てることとしています。加えて、今後、公営住宅をどのように建てるかということで、今年度、住生活基本計画を策定して、次の公営住宅の建て替えをどうするか等この先10年間の計画を作ります。その際も、今と同じように外側にある団地を内側にもっていくため、旧緑ヶ丘小学校跡地も含めて検討し、まちを縮小していく考え方を持っています。このことについては、平成32年度からの総合計画にも打ち出していこうというふうに考えていますが、できるだけまちは内側に小さくして、水道や除雪に係る経費も圧縮できますので、そういう形で進めていく考えです。ただし、この地区は、以前の説明会で説明しているとおり今回の移転集約が終われば一旦終了ということで考えていただければと思います。</p> <p>●言葉かけは大事だと思っていますし、人間生活の中で基本中の基本だと思っています。会釈も挨拶も大切だと思っていますが、どのような形で市の職員がそのような対応をとったかわかりませんが、いずれにしても市の職員は皆様方に支えられている立場ですし、サービスを提供する担い手です。また、仕事というのは人がすることであり、信頼関係が無ければ良い形にはなりません。不信という形が生まれたらサービスを受けた側にとってもうれしくないと思います。これでは市の職員として失格だと思っています。従いまして一番大事な基本のところを職員に伝えさせていただいて、市民の皆さんと挨拶、会話ができるように、そういう形を作りあげていきたいと思っています。</p>

質問・意見等

●花いっぱい運動の花の種類マリーゴールドについて、病気も虫もつかず暑さにも強い花ではあるが、雨に弱いのではないかと思う。昨年は異常天候だったこともあるが9月に入り枯れてしまった。平年はもう少し長く咲いていたと思うが、それでも霜が降りる頃まで咲いていたという記憶はない。よその街ではどのような花を育てているのか、どのような種類でも良いので、長く眺めることのできる花を選んでもらえないか。

●市のホームページをリニューアルすることだが、具体的にどの程度便利になるのか。例えば、今年のような大雪の時などに除排雪の関係など市民に対しての情報提供としてホームページの充実を望みたい。今までですと、選挙の時だけはちょっと早いかと感じたがほとんどが変わらないのが現状だったと思うので、その点について質問させてもらう。

市の回答

●市もマリーゴールド以外の花について、宿根草などいろいろテストしてみましたが、なかなかびったりあう花がありませんでした。
単年草だと、毎年土をおこして花を植えて雑草を取るということになり、宿根草は、雑草取りだけとなりますが、どうしても花の期間が短かったり、きれいに咲かなかったり、例えば背丈が長くなりすぎて道路に倒れてしまうということもあります。3、4種類をテストしてみましたが、マリーゴールドのような丈夫で花の時期が長いという花を見つけることができませんでした。そのため、当分の間は、マリーゴールドでいくという形にしています。マリーゴールドの花の期間ですが、5月の植えた時期からうまく育てれば9月頃までとなりますが、土壌の状態やその年の天候によっては、どうしても短くなってしまいます。それから、同じ街路マスに植えているために肥料不足となってしまうこともあります。そのため、数年前から奈井江町の下水処理場で作っている堆肥を市の車両センターに置いておきまして、各町内で自由にお持ちいただいて、植樹マスに使用してマリーゴールドの成長に役立ててくださいとしています。ただ、もともとの植樹マスの土質というのがありますので、場所によってはどうしても花の期間が短くなってしまうということがあります。市としましても、バイパス沿いの植樹マスに土を入れてみるなど、いろいろ対応はしていますが、それぞれの町内会におきましても、ぜひ堆肥の投入など工夫していただいで、花を長く楽しんでいただければと思っていますので、よろしくお願ひします。

●今のところ、個々個別にどの部分を改善するということまでは言えませんが、現状、探したい情報までなかなか行きつかないというところがありますので、そこを体系的にもう少し探しやすい形にしていきたいと考えています。また、これは職員側のこととなりますが、入力する環境についてもなかなか入力しづらい環境となっていて、それぞれが担当する事務の情報を即座に提供しようとしても、入力方法が複雑でなかなかできないということもあるため、できるだけ今よりも多くの情報を提供していきたいという形での考え方を持っているところです。また、今回の更新でウェブアクセシビリティ対応を図りまして、障

質問・意見等	市の回答
<p>●町内は高齢化が進み空き家も増えているところだが、昔は防犯灯を取り付ける電柱がなかったのが民家に取り付けているところも多くある。ところが、その民家が空き家になり取り壊すからはずしてほしいと言われることが増えてきた。防犯灯の設置については、市へ要請しているがなかなか対象とならないところだが、町内会が単独で設置した場合の補助について検討されているのかいないのか聞きたい。さらに、以前に三菱町内会で要望したオーダーソーイングの駐車場の砂利道の舗装について、その後どのような経過になっているかお聞きしたい。</p>	<p>がい者の方やご高齢の方への配慮が義務化されていますので、文字の拡大が出来るような機能を付けることや画面の色を変更できるようにする改善も行っていきたいと考えています。なお、具体的な例として、除排雪の情報を公式ホームページを使って提供していただきたいということですが、これにつきましては、情報提供の在り方について考え方がありますので、経済建設部長からご説明をさせていただきます。</p> <p>●実際のところ、除排雪の情報はなかなか流せないというのが現実にあります。理由としては、一つは、今年のような大雪の時は、例年の予定で作業を始めても、普通なら1日で終わる路線も2日かかってしまうなど、お知らせしたとしても予定どおり進まないという状況もありました。それから、いつもであれば、雪をきれいに取っていった所でも、なかなか作業が進まないのが道路の車幅だけを確保するといった方法に切り替えたところもあります。中には、市民の方で排雪作業が近づいてくると、自分の敷地内の雪を全部道路に出される方もいます。そうすると予定どおり作業が進まないということも現実には起きている状況です。そのようなことから、詳しい除排雪の情報は流せないというのが実態ですので、例年の通り道はだいたい決まっていますから、周りの作業状況を見て察していただければと思います。</p> <p>●防犯灯につきましては、三菱地区に限らず全市的な問題だと思っていますし、空き家の存在によって防犯灯にまで影響が出ていることを改めて認識しました。三菱地区を含め全市的にどのような状況になっているかさっそく調査しまして将来的にどのような対策が必要かをお示ししたいと思いますので、少しお時間をちょうだいしたいと思います。それから、ソーイングの駐車場に隣接している道路ですが、これは過去からご要望がありまして、その必要性について検討してきました。そのなかにありまして、実はソーイングの工場の新設という話が正式ではありませんが、その工場を駐車場の敷地に建てるのであれば、道路の計画も先に作っては無駄になってしまいますので、並行して検討しようというようにしていました。まだ、その計画が具体化していませんが、将来的に駐車場として使うのであればそれなりの道路に、また、工</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●市内にはいろいろな企業があり、新しくできた企業もありますが、何をやっている企業なのか分からない企業もある。それで4月から5月に芦別市にはこういう企業がありますので、市内企業を使いましょうなど年に1回は広報あしべつでお知らせしてはどうか。そうすることで、市内の企業も見直されて使われるのではないか。自分も仕事しているが、市内全体を見渡して思うのは、市外の業者が建築でもなんでもやっている。市内業者を見かけない。市の財政を考えると企業からお金が入らなければ、いくら市民からお金が入ったとしても企業よりは少ないですね。そういうことを考慮しながら、市内の業者を使うように市全体として努力してほしい。</p> <p>●2、3年まえの新聞の記事で、美唄の議会で2020年度に富良野美唄線が開通する予定なので、沿線自治体でなにか考えてはという記事を見た。市が担当するコースではないので、分かる範囲で構わないが進捗状況を教えてほしい。また、先日の新聞記事には時間が2分しか短縮されない無駄な工事だというように載っていたがどうなのか。最後に、今回の補正予算に凍上による2路線の改修があったが、どこの路線なのか教えてほしい。</p>	<p>場を建設するのであれば、それにふさわしい計画に沿った道路の整備をしようと思っておりますので、こちらの方もそのお話がどのように進行するか少しお時間をちょうだいしたいと思っておりますし、また、話しが正式になりましたら地域の皆様方にもご報告したいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>●貴重なご提言ありがとうございます。二つお答えしなければならないと思いますが、まず一つ目は、市内企業についてですが、市内企業がどういったものを製造していたり、販売していたりしているのかをご存じない方が結構多くいます。素晴らしい商品についても、または、その企業の規模などまったくわからない訳です。いただきましたご提案については、ぜひ広報等を活用しながらPRを進めてみたいと思いました。やはり、市内の企業を使うことで、地域でお金が回り全体的な経済性のアップにつながりますから、非常に効果性が高いと思います。どういう仕掛け方が良いのかというのは我々も少し時間をいただいて、もっと具体的に市民のみなさんにお伝えできるようなツールとして広報等を使いながら広くPRできるようにしていきたいと思っております。</p> <p>●美唄富良野線の状況については、当初は平成32年度に開通予定でしたが、現在、地すべりが発生した地盤があり難所の状態が生じたということで慎重を期すため平成34年度に先送りになりました。それから費用対効果の評価の対象になっていて、これは北海道が有識者に諮ってその結果を待ってその工事を進めるかどうかの判断を仰ぐという組織があるのですが、その情報は正直私共は得ていませんが、ただ、ここは北海道が進める道路でありますので、今の段階ではこれを中止にするなどの情報はいただいていませんので、予定どおり作業は進めていかれるのだろうと思っています。</p> <p>それとこの路線に関連する事項ですので、情報提供させていただきますが、美唄富良野線は途中で452号線にぶつかりますが、そこにはちょうど三段滝があります。この路線が出来ることによって、正直三段滝を利用する方は芦別に来られる方よりも富良野に抜けられる方が多いと思います。今も三笠方面か</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
	<p>ら来られて結局は三段滝を通過して富良野にぬけていく。みなさんもお存知のとおり三段滝には駐車場22台とトイレがあります。これは芦別市が整備したものです。施設を使ってもらえることは良いのだが、くみ取り式のトイレのため、水を運ばなければならないし、後始末もしなければならない。</p> <p>これらは現在芦別市が行っているが、あまりにも理不尽ではないかと思っている。</p> <p>今後、美瑛富良野線が開通するとさらに車両が増え、おそらく大型車も増えるでしょうし、今、どちらかというにつづら折りになっている三笠から来る道路よりも比較的つづら折りが少ない三笠インターから抜けて来られる方が多くなると思いますので、なお車両台数は増えると思います。三段滝は休憩所というかちょうど中間点になりますので、ますます利用者は増えるでしょうが、管理すべてを芦別市でというのはできません。</p> <p>そのため、国に要望しているところですが、この場所は国道と道道の接点となるものですから、国も北海道もそして当然我々沿線自治体の芦別市、富良野市、美瑛市、三笠市もこの場所をどのような形に持っていく必要があるかということを考えなければなりません。またこのルートは、観光度合いが非常に高い主要ルートになりますので、その受け皿となる休養施設的なものがしっかりと北海道の観光振興のためにも良くないということで、道の駅ならぬ滝の駅として整備できないかと提案申し上げたところです。</p> <p>そのような話をしていくと、以前は道の駅は一自治体に一つが基本だと言われてきましたが、当初は14km以上離れていればもう一つ設けることができるという話があった訳ですが、今は、その制約がなくなり必要があれば道の駅はつくることができるという話がありました。それで私たちの提案は、一自治体が負担するのではなく、むしろ主になるのは国であり道ですから、そこの受け皿の休養施設ですから、ランクを上げて道の駅という形でやっていただくという選択肢もあるのではないかとということで、5月29日に国と道と芦別市の三者の事務方でどういった形のものが望ましいのか勉強会を行うこととなり、具体的な作業が始まることになりました。平成34年度の美瑛富良野線の開通に向けてこのような状況となっていますので、お伝えさせていただきます。</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●葬儀の件についてですが、他の業者が入り地元業者で本町生活館を使うということが少なくなったと思う。今、本町生活館の使用料は2日間で6万円ぐらいだと思うが、それを少し安くして、また、調理場もあるので業者ではなくそこで作れるようにするとまた利用客も増えるのではないかと思っているがどうお考えか。</p>	<p>●今回の補正予算についてですが、一本は旭町でもう一本は国道38号から昔の警察署があったところに向かって行く道路になります。毎年、春になると道路が凸凹になって土のうを置いて対応していますが、一定の時期になると収まっていくのですが、今年はまだ土のうが外せない状況となっていて、そのため安全性を確保するため工事をすることにしました。そしてもう一本は、旭町のスキー場へ向かっていく道路になります。毎年春先はひどい状況ですが、特に夏場はキラキラフェスタの花火大会があり、例年要望があるのは、花火大会が終わって暗くなって帰るときに、穴ぼこだらけで危ないため何とかしてほしいというもので、それでも部分的に補修をしながらやってきましたが、やはり今年の雪解け後の状況が非常に悪い状態になりまして、補修では対応できないことから今年のキラキラフェスタが始まる前までに安全性を確保するためということで、急きょこの2路線を補正予算としてあげさせていただいたところです。</p> <p>●ご質問の主旨としては、できるだけ地元でそういった活用ができないか、そういう形の循環性を持った方がより効果的で利用しやすいような、そういった形が望ましいのではないかとことだと思えます。その6万円の有り様等につきましては、一つの形として出来ている歴史もありますが、そのような意見があったということを受け止めさせていただいて、安くするという形が可能なのかどうかなどを含めて、これは広く全体で検討させていただく課題だと思っています。ありがとうございます。</p>

6/11（月） 新城多目的研修センター（18:00～19:30）

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●市立病院の関係について、現在の医師不足の中で、市立病院は将来的に経営していけるのか心配です。私も後期高齢者になるときに、いずれ病院のお世話になることもあると思っているが、現在の診療体制ではなくて、内科で診てもらい、悪ければ砂川市や滝川市の病院に行けるような体制をとった方が良いと思う。今は赤字経営だと思うので、身の丈にあった病院経営を行い、病院がなくならないようにするべきである。</p>	<p>●将来的な話ですが、現状の医師不足のままでは、経営は厳しくなると思いますが、今の時点で病院を縮小すると患者さんが困りますし、そうすると滝川市や砂川市の病院に行くこととなりますが、滝川市等の病院も医師不足で余裕がない状況です。このような状況において、市立病院としては病床を減らして縮小はしていきますが、医師確保は続けていかなければ、市民の医療を守れませんので、医師確保は努力していきたいと考えています。その他、病院には医療スタッフが大勢いますし、関連企業の方も働いています。例えば病院がなくなると、その方たちの雇用の場がなくなることになり、人口の流出に繋がり税収も減ることにもなりますので、このような意味からも、現時点では、医師確保に取り組んでいきますが、将来的には経営が厳しくなりますので、診療所化ですとか、滝川市や砂川市の病院にお世話になることも考える時期が来ると考えています。</p>
<p>●子どもの出生率が低いのは仕方のない現実と思う。新城の学校が閉校してから十数年がたつと思うが、今新城地域にいる生徒はスクールバスで通っているが、バスに乗っている人数を見ると非常に少ない。自治体によってはタクシーを利用しているところもあるので、収支の計算をして、スクールバスが赤字になるのであれば、タクシーの利用も考えてはいかがでしょうか？</p>	<p>●統合時の約束として、地域の子ども達を統合先の学校に、市として責任をもってお届けをするということで、その手法としてスクールバスを使っています。子供の数によって、お金がかかるスクールバスではなくて、例えばタクシーを利用してはどうかというご提言だと受け止めており、率直なところ、両方を比較して数字の精査には至っていません。従いまして、新城地区のスクールバスの需要を把握しながら、経費の面でどのような方法が良いのか今後に向けての検討事項であると考えています。ちなみに十数年前に青木沢地区までスクールバスを回せなくてタクシーを利用ということで通学していた中学生がいましたし、旭町でも同様のケースがありましたので、いずれにしても、通学しやすい環境にも配慮した中で経費も見ながら考えていきますので、ご提言いただきありがとうございます。</p>
<p>●我々が免許証を返納した時に中央バスを利用する事になるが、4月にバスが減便になった。そこで、病院には朝行くことができるが、帰りは時間帯の良いバスが無く、病院で待たなければならないなど、苦勞している方もいるので、このような不便を解消できるようにしていただきたい。新城には子供がいるので、高校生になればバスで通学しなければならない</p>	<p>●この4月から旭芦線が2便減便になりました。現実を申し上げますと、この路線は乗客が少なく、その中で中央バスが運行していますが、国の補助も加えながら旭川市、深川市、芦別市の3市が補助金を負担しながら運行してきた経過があります。この路線を何とか残そうという思いで減便を決断したということをご理解いただきたいと思ひます。その中で、ど</p>

質問・意見等	市の回答
<p>いし、今後も高齢者はいますので、無くなっ ては困る。減便したものを増やすことにはな らないが、こうなる前に、新城地区の利用者 の意見を聴いて決定していただきたいかった。</p> <p>●夫婦滝に行く道ですが通行止めになってい る。夫婦滝は観光地として地図にも掲載され ているので、観光客から問合せも来るが、現 在、どのような状況なのか教えていただきた い。</p> <p>●身の丈に合った財政という話について、支 出をいかに減らすかが大切なので、提案です が除雪経費を減らす方法です。雪は暖くな ったら溶けるので除雪体制を改革することで 経費を減らすことはできないか。新城地区は 除雪の際に道路を往復しますが土地がたくさ んあるので雪を貯めるスペースはありますが、 市街地だと雪を貯めておく場所もないと 思うので、対面通行の道路について一方通行 を増やすと良いと思う。一方通行にすると2 車線のうち一車線に雪を置いておくことが できるので排雪も減る。これから人口も減り ダンプの運転手も減るので除雪作業を縮小し ていく必要があると思う。</p>	<p>の便を減便するのがいいのかということの中 で、実際にご利用されていますから、どの便を 減便しても不便になる方もいる中で、最終便 をなくせば帰ってくるができない、通学 されている方もいますので、様々なことを考 えながら、最終的に昼の部分を2便減便した というのが事実ですが、今のお声もあります ので、引き続き、3市、中央バスも含めて、4 月に減便してすぐに増便にはなりません、 新城・黄金、常磐地区の皆さんが不便を感じ ていますので、引き続き何か変わった方法での 足を確保できる方法がないのか、引き続き関 係者と協議を続けてまいりたいと思いたすの でご理解いただきたいと思いたす。</p> <p>●夫婦滝ですが大雨で災害になりまして、途 中道路が崩れており、特に雲龍橋のところ が、人が一人通れるくらいの状況です。そこ で、何とか復旧できないかということで、そこ は周りが国有林ですので空知森林管理署が 管理していますので、空知森林管理署と協 議をしまして、この春やっと協議が整い、雲 龍橋のところまでは、今の森林側に道を 広げて通れるようになりました。既に測 量が終わって7月中旬までには雲龍橋 まで通せるようになります。ただ、その 先ですが、人が一人通れる状況でして、 そこを削ると崖がありますので地滑りの 危険性がありますので、その先につい ては少し時間がかかるだろうと考えてい ます。ただ、雲龍橋まで車で行けるよう になりますので、そこに車を止めて頂い て、歩いて夫婦滝まで行けるようにし たいと考えています。</p> <p>●一方通行に関しては、警察の管轄になり ます。今年度、本町で一方通行から対 面通行に切り替える道路がありますが、 対面通行に戻すのに沿線の住民全員の 同意が必要になります。ここは3町 内にまたがっていただけだったので、 町内会長の協力を得て全員の同意を もらってやっと一方通行が解消でき ることになりました。逆に言うと、一 方通行にしようとする、沿線住民全 員の同意が必要になるということです。 ここの一方通行を解消するのに7年 から8年かかりました。なぜ今回で きたかという、と反対していた方が 転居されたということです。今回、 ご提言いただきましたが、沿線住 民全員の同意を得て一方通行にする というのは難しいと思っています。</p>

質 問 ・ 意 見 等	市 の 回 答
<p>●今後5か年の財政収支見通しについて、年間約1億4千万円の収支不足となっており、5年で約10億不足するとなっているが、この中に市立芦別病院の赤字額はどれくらいあるのか教えていただきたい。</p> <p>●市立病院は、市民の健康を守るための施設なので赤字があっても仕方がないと思っている。そもそも公共では収支均衡型は難しいと思うし、どうしても削減できない部分はあると考えている。</p>	<p>●手元に資料が無いので詳細はお答えできませんが、市立病院の赤字に関しては、一般会計から決められた部分で補てんしているものと、それ以外に補てんしている部分の2通りあります。今後は、決められている部分については、今まで通り一般会計からの繰出金という形で補てんしますが、上回る部分については取り扱いを変更し、貸付金という形にして支援することとしており、どこかの時点で返していただくこととしています。これまでは市立病院に対して年間約3億円程度一般会計から支援していますので、その部分がなくなれば財政見通しも変わってきますが、このままの形で病院を残していくのであれば、一般会計からの持ち出しは更に増えていくと考えています。</p> <p>●市立病院については存続をすることを前提に市からお金を出していますが、出ていくものは出ていくものとして、他の部分で出ていく部分を抑える取組や、ふるさと納税など収入を増やす取組が必要になってきますので、歳出の圧縮と歳入の確保を合わせて行財政改革を進めていかなければならないと考えています。</p>